

高等学校「情報」
教科書周辺サポート、生徒用教材のご案内



NEW!

令和9年度用

情報カタログ

理解を深め、力を伸ばす。

基礎学習から入試準備までを一貫サポート！



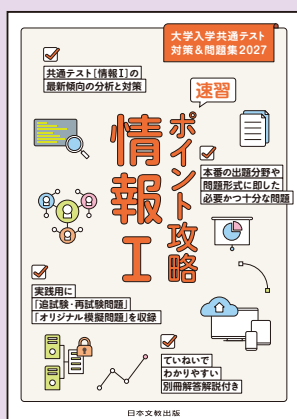
AIリテラシー・ワークブック



大学入試対応教材



しっかり基本から——。
共通テスト・大学入試レベル対応
情報Ⅰ 大学入試対策問題集

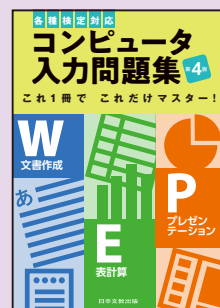


大学入学共通テスト対策 &
問題集 2027
速習 ポイント攻略 情報Ⅰ

学びを深める補助教材



情報 最新トピック集2027
高校版



コンピュータ入力問題集
第4版

ご採用校向けに
追加問題の提供を
開始しました



教科書 完全準拠 生徒用副教材



情報Ⅰ 問題演習ノート



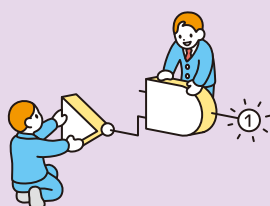
情報Ⅰ 授業ノート



情報Ⅰ ADVANCED
問題演習ノート



情報Ⅰ 図解と実習
サブノート



心が動く、その先へ。

日本文教出版

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、
配布を許可されているものです。
※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または
削除する場合があります。

教科書傍用にも自学自習にも。「教科書の学び」を「入試で生きる力」へつなげる教材です。

※紙面の内容は、供給時に変更になる可能性があります。

しっかり基本から——。
共通テスト・大学入試レベル対応

発売中

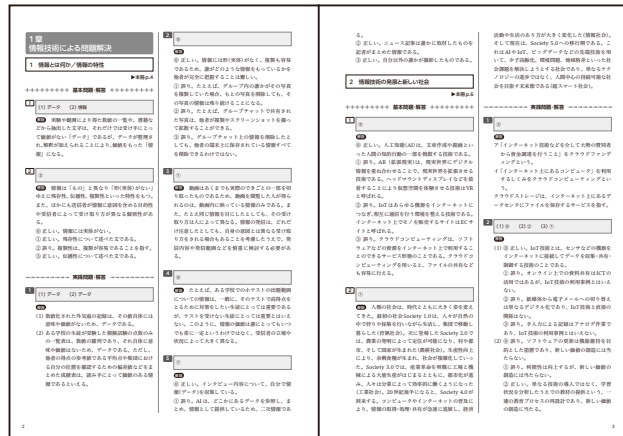
情報Ⅰ
大学入試 対策問題集

判 型：B5判

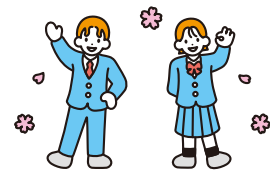
頁 数：152頁（別冊「解答・解説」112頁つき）

価 格：990円（本体900円＋税10%）

ISBN：978-4-536-25518-9



別冊「解答・解説」



別冊「解答・解説」

くわしい解答・解説で生徒の自学自習をサポートします。授業内での活用はもちろん、受験対策の講習や特別授業、自宅での学習にも対応可能な内容で、幅広い場面でご利用いただけます。

多様な出題形式を掲載し実践力を養う

過去に入試として出題された問題を掲載。さまざまな出題形式に慣れることで、受験に求められる実践的な学力を身につけることができます。

↓ ご採用校提供データ

ご採用校向けに下記データをご用意しています。印刷・校内での配信など、授業形態に応じてご利用いただけます。

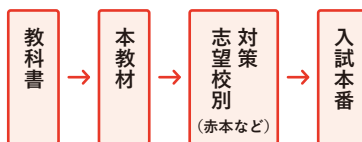
●紙面（PDF、Word） ●解答・解説（PDF、Word）

※弊社Webサイトからダウンロードいただけるよう、ID・PWを含め別途ご案内いたします。

本書導入のポイント

特徴	教科書レベルの基本問題から実践問題まで、段階的に大学入試対策に取り組める。
目的	中・長期的な取り組みにより、大学入試で求められる基礎的な学力を身につける。
対象生徒	大学進学を目指す生徒、教科書範囲の基礎を入試形式の問題演習で固めたい生徒。
導入時期	通年（基礎学習後の演習や、受験期の土台づくり）。
活用シーン	授業内の演習、課題、自学自習など。

入試に向けたロードマップ（例）



あわせて活用して効果UP!
共通テスト対策には、次ページ掲載の「速習 ポイント攻略情報Ⅰ」の導入が有効です。本教材と併用することで、入試に対応した学力を養います。

4 問題解決の流れ

基本問題

1 [問題解決の流れ] よりよい問題解決を行うための次の手順①～③を最も適当な順に並べ替えよ。

① 問題に関する情報の収集・分析
② 問題や目標の発見・明確化
③ 結果の振り返り・共有
④ 解決案の立案・実行

ONE POINT 問題解決の第一歩は、解決したいことは何かを明確にすることである。

2 [PDCAサイクル] PDCAサイクルを図示したものと、最も適当なものを次の①～③から1つ選び、記号で答えよ。

① ② ③

ONE POINT PDCAサイクルでは、「計画」→「実行」→「評価」→「改善」というプロセスを繰り返す。

実践問題

1 問題解決に関する記述として、適当でないものを次の①～③から1つ選び、記号で答えよ。

① 問題解決における「問題」とは、一般に、「理想と現実の間に生じているずれ」や、「解決や解消を必要とするような状況」のことを指す。
② 問題には、ゴールやそこに到達する手段がすでに明示されている課題のようなものだけでなく、みずからゴールの設定やそこに到達する手段の検討を行う必要があるものも存在する。
③ どのような解決方法を選ぶかによって効率には異なるが、ゴールが同じであるかぎり、得られる結果が変わることはない。
④ よりよい問題解決のためには、さまざまなツールや手法を活用したり、他者からフィードバックをもらったりすることも有効である。

2 次の文章を読み、あとの問(1)～(3)に答えよ。

某市某地区にあるダンススクールでは、再来月にダンス発表会を開催することになり、ダンススクールの周辺住民に広く告知したいと考えた。発表会の広報戦略を立てるため、スクールの広報活動で利用できるメディアの特徴を検討して、次の表1にまとめた。さらに、周辺住民に普段から利用しているメディアについてアンケートをとり、その結果からあとの図1を作成した。

4 問題解決の流れ

問題解決の流れ

表1 各メディアの特徴

メディア	対象範囲	更新頻度	告知費用	情報発信形式
地元新聞	県内	毎日	高額	文章・画像
地区の広報誌	地区内	毎月第2水曜日	無料	文章・画像
地区の掲示板	掲示場所近隣	随時	無料	文章・画像
スクールWebサイト	全世界	随時	低額	文章・画像・動画
動画SNSアプリ	全世界	随時	無料	動画

※掲載2日前までに依頼する必要がある。

図1 周辺住民のメディア利用率

メディア	普段から見ている	ときどき見ている	見ていない
地元新聞	65%	17%	14%
地区の広報誌	55%	26%	18%
地区の掲示板	22%	45%	30%
スクールWebサイト	15%	28%	57%
動画SNSアプリ	5%	14%	78%

表1と図1から読み取れるスクールWebサイトの特徴として、最も適当なものを次の①～④から1つ選び、記号で答えよ。

①「地元新聞よりも対象範囲が狭い」かつ「随時更新できる」
②「地元新聞より安価で告知できる」かつ「地区の広報誌より周辺住民のメディア利用率が高い」
③「動画を掲載できる」かつ「地区の掲示板より周辺住民のメディア利用率が高い」
④「写真を掲載できる」かつ「動画SNSアプリより周辺住民のメディア利用率が高い」

2 発表会を告知するにあたり、費用をかせずに多くの周辺住民に対して告知できるメディアを選択したい。表1と図1を踏まえ、最も適当なメディアを次の①～④から1つ選び、記号で答えよ。

① 地元新聞
② 地区の広報誌
③ 地区の掲示板
④ スクールWebサイト
⑤ 動画SNSアプリ

3 発表会の開催日が近い月末になって、告知していた内容の訂正が必要となった。費用がかかって複数メディアを利用して1週間以内には周辺住民に訂正情報を伝えたい。どのメディアを利用すべきか、最も適当なものを次の①～④から1つ選び、記号で答えよ。

① 地区の広報誌、地区の掲示板、スクールWebサイト、動画SNSアプリ
② 地元新聞、地区の広報誌、地区の掲示板、スクールWebサイト
③ 地元新聞、地区の広報誌、地区の掲示板、動画SNSアプリ
④ 地元新聞、地区の広報誌、スクールWebサイト、動画SNSアプリ

36 並べ替えのプログラム

実践問題

1 次の文章を読み、あとの問(1)～(3)に答えよ。

ある配列において、未整列部分から最小(または最大)の要素を探し、未整列部分の先頭と交換する操作を繰り返すことによって並べ替えを行うアルゴリズムを「選択ソート」という。以下は、選択ソートによって、配列の値を昇順(値の小さい順)に並べ替える手順である。

(i) 配列の先頭の要素を「整列済み部分」、それ以降のすべての要素を「未整列部分」とする。
(ii) 「未整列部分」の先頭の要素の値を取り出す。
(iii) 「整列済み部分」の末尾の要素の値から順に、取り出した値との比較を行っていき、「整列済み部分」の要素の値が取り出した値より小さい場合には、その「整列済み部分」の要素の値を1つ後ろの要素へずらす。「整列済み部分」の要素の値が取り出した値以上であった場合には、その「整列済み部分」の要素の1つ後ろの要素に、取り出した値を格納する。取り出した値の格納が完了した時点で、「整列済み部分」を、配列の先頭の要素から、取り出した値が元々格納されていた要素までの範囲に更新する。
(iv) 「未整列部分」がなくなるまで(ii)～(iii)の要素を繰り返す。

次のプログラムは、上記の手順によって配列Hairetsuの値を昇順に並べ替えるプログラムである。なお、配列の添字は「0」からはじまり、関数「要素数(配列)」は指数として指定された配列の要素数を戻り値として返す。

```
1 # 設定
2 Hairetsu = 【外部から配列を入力】
3 n = 要素数(Hairetsu) # 配列Hairetsuの要素数を入力
4 # 処理
5 i を 1 から 【ア】 まで 1 ずつ増やしなが繰り返す:
6 | hozon = Hairetsu[i]
7 | j = 【イ】
8 | j >= 0 and Hairetsu[【ウ】] < hozon の間繰り返す:
9 | | Hairetsu[【エ】] = Hairetsu[【オ】]
10 | | Hairetsu[【カ】] = hozon
11 # 結果表示
12 表示する(Hairetsu)
```

(1) 空欄ア～エに当てはまる変数名をそれぞれ答えよ。
(2) このプログラムを実行し、[9, 4, 2, 7] という配列を入力した場合、処理A (10～12行目の一連の処理)は合計で何回行われることになるか答えよ。
(3) このプログラムを配列Hairetsuの値を降順に並べ替えるプログラムにするための変更に関する記述として、最も適当なものを次の①～④から1つ選び、記号で答えよ。
⑤ 5行目を「j を n - 2 から 0 まで 1 ずつ減らしながら繰り返す:」に変更する。
⑥ 7行目を「j を n - 1 から i + 1 まで 1 ずつ減らしながら繰り返す:」に変更する。
⑦ 8行目を「もし Hairetsu[【ア】] > Hairetsu[【イ】] ならば:」に変更する。

56 並べ替えのプログラム

2 次の文章を読み、あとの問(1)～(3)に答えよ。

ある配列において、それぞれの値を正しい位置に挿入していくことによって並べ替えを行うアルゴリズムを「挿入ソート」という。以下は、挿入ソートによって、配列の値を降順(値の大きい順)に並べ替える手順である。

(i) 配列の先頭の要素を「整列済み部分」、それ以降のすべての要素を「未整列部分」とする。
(ii) 「未整列部分」の先頭の要素の値を取り出す。
(iii) 「整列済み部分」の末尾の要素の値から順に、取り出した値との比較を行っていき、「整列済み部分」の要素の値が取り出した値より小さい場合には、その「整列済み部分」の要素の値を1つ後ろの要素へずらす。「整列済み部分」の要素の値が取り出した値以上であった場合には、その「整列済み部分」の要素の1つ後ろの要素に、取り出した値を格納する。取り出した値の格納が完了した時点で、「整列済み部分」を、配列の先頭の要素から、取り出した値が元々格納されていた要素までの範囲に更新する。
(iv) 「未整列部分」がなくなるまで(ii)～(iii)の要素を繰り返す。

次のプログラムは、上記の手順によって配列Hairetsuの値を降順に並べ替えるプログラムである。なお、配列の添字は「0」からはじまり、関数「要素数(配列)」は指数として指定された配列の要素数を戻り値として返す。

```
1 # 設定
2 Hairetsu = 【外部から配列を入力】
3 n = 要素数(Hairetsu) # 配列Hairetsuの要素数を入力
4 # 処理
5 i を 1 から 【ア】 まで 1 ずつ増やしなが繰り返す:
6 | hozon = Hairetsu[i]
7 | j = 【イ】
8 | j >= 0 and Hairetsu[【ウ】] < hozon の間繰り返す:
9 | | Hairetsu[【エ】] = Hairetsu[【オ】]
10 | | Hairetsu[【カ】] = hozon
11 # 結果表示
12 表示する(Hairetsu)
```

(1) 空欄ア～エに入る変数名として、最も適当なものを次の①～④から1つずつ選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号を複数回選んでもよい。
① n ② n - 1 ③ i ④ i - 1 ⑤ j ⑥ j + 1
(2) このプログラムを実行し、[3, 8, 1, 4] という配列を入力した場合、処理A (9～10行目の一連の処理)は合計で何回行われることになるか答えよ。
(3) このプログラムを配列Hairetsuの値を昇順に並べ替えるプログラムにするための変更に関する記述として、最も適当なものを次の①～④から1つ選び、記号で答えよ。
① 8行目を「j >= 0 and Hairetsu[【ア】] > hozon の間繰り返す:」に変更する。
② 8行目を「j >= 0 or Hairetsu[【ア】] < hozon の間繰り返す:」に変更する。
③ 8行目を「j >= 0 or Hairetsu[【ア】] > hozon の間繰り返す:」に変更する。

無理なく学習を進められるように構成

各テーマのはじめに、教科書記述レベルの基礎・基本を確認します。
要点を押さえることで、続く「実践問題」に無理なく取り組みます。

難易度を表示しているため、取捨選択しながら学習に取り組める

問題には難易度を★マークで示しています。生徒が自らの学習段階に応じて、
問題を選びながら取り組むこともできます。

傾向分析×模擬試験で徹底対策。夏期講習や直前対策に最適な 短期集中型の共通テスト対策教材です。

※紙面の内容は、供給時に変更になる可能性があります。



大学入学共通テスト対策&問題集 2027

速習 ポイント攻略 情報I

判 型：B5判

頁 数：256頁予定（別冊「解答・解説」つき）

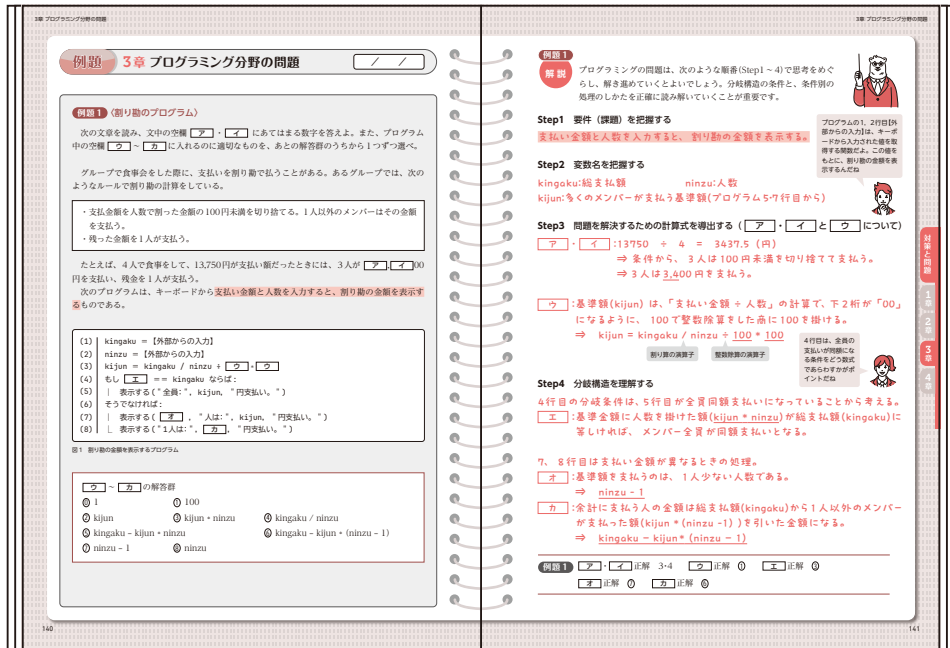
価 格：990円（本体900円＋税10%）

ISBN：978-4-536-25519-6

NEW!

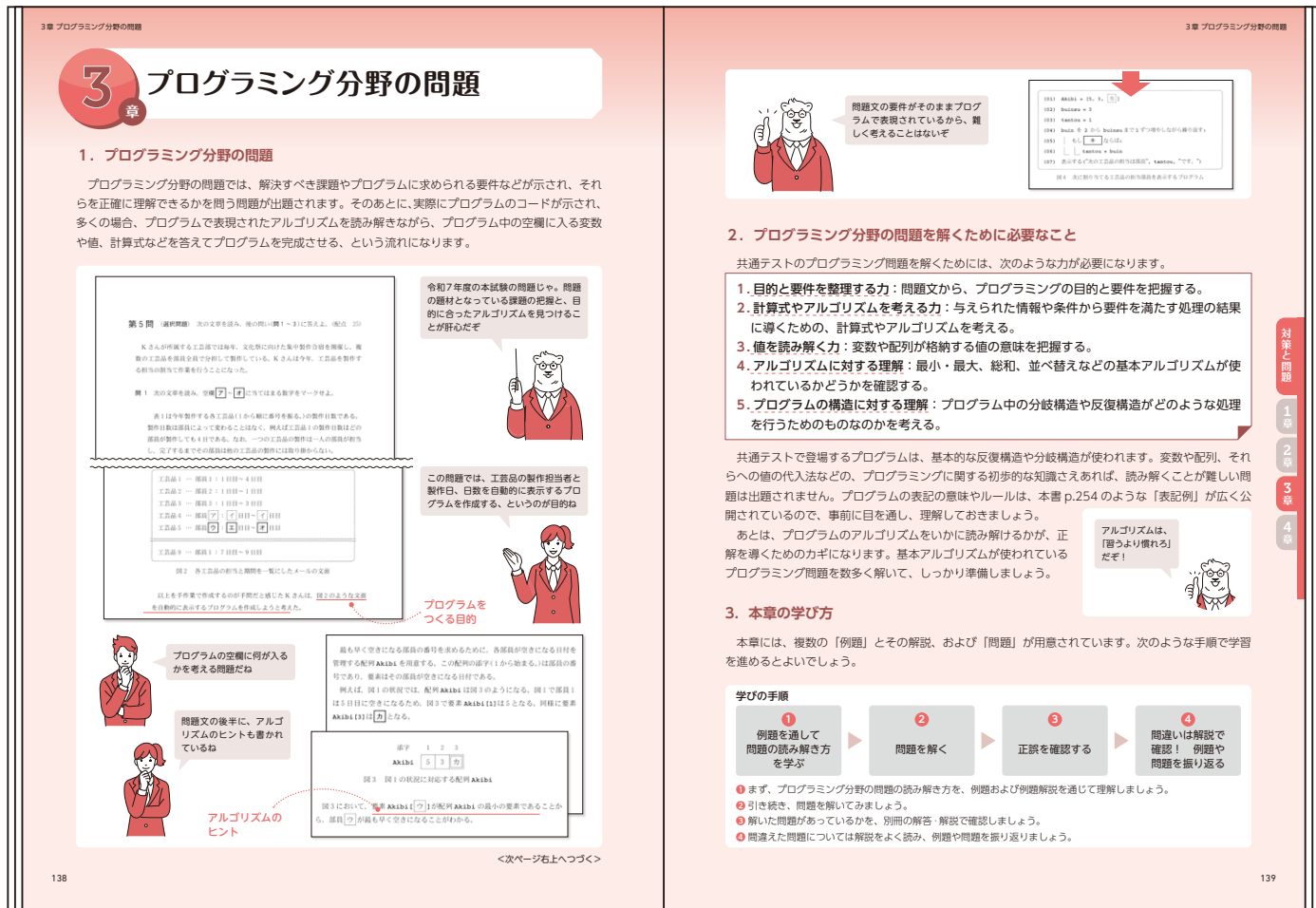
本書のおもな内容

- 大学入学共通テストの最新問題分析と解説
- 小問の「対策と問題」
- 中・長文問題の「対策と問題」
- 追試・オリジナル模擬試験問題 など



例題を用いて丁寧に解説

長文問題として出題される傾向が強いプログラミング、シミュレーション、データ活用の3領域については、例題を用いながら解説。つまづくことなく学習を進められます。



共通テストの問題を解説

本教材の導入では最新の大学入学共通テストの解答を示し、解説を行います。共通テストを「小問」と「大問」に大分類し、大問ではプログラミング、シミュレーション、データ活用の3つに分けてそれぞれの領域についての対策をくわしく解説しています。

↓ ご採用校提供データ

ご採用校向けに下記データをご用意しています。印刷・校内での配信など、授業形態に応じてご活用いただけます。

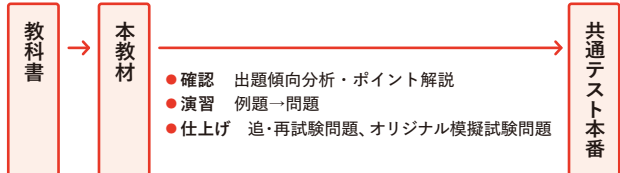
- 紙面（PDF、Word）
- 解答・解説（PDF、Word）

※弊社Webサイトからダウンロードいただけるよう、ID・PWを含め別途ご案内いたします。

本書導入のポイント

特徴	共通テストの傾向分析に加え、例題を通して問題文読解のポイントや考え方を学べる。オリジナル模擬試験問題も収録し、実践演習まで一冊で行える。
目的	共通テスト対策に特化し、短期集中で出題傾向の把握と実践的な力を養う。
対象生徒	共通テストに向けて、共通テスト形式に慣れたい生徒、あるいは短期間で弱点補強したい生徒。
導入時期	夏休み～直前期（授業の復習～最終確認）。
活用シーン	夏期講習、補習、直前対策講座、自学自習など。

入試に向けたロードマップ（例）



あわせて活用して効果UP!

本教材は共通テスト対策のために2週間程度で取り組めるように企画しています。大学入試に向けた基礎学力を中・長期的に養うことを目的とした前ページの「情報I 大学入試 対策問題集」を併用することで、より確かな学力を育みます。



実践的な問題を多数収録

大学入学共通テストに向けて取り組んでおきたい問題を収録。また、オリジナル模擬試験問題もあり、本番さながらの対策が可能です。

教科書の理解を助ける生徒用副教材です。授業プリント代わり、また 定期テスト前の学習教材としてご活用ください。

※生徒用の別冊解答及び、赤字で解答を示した教師用書の発行は予定しておりません。予めご了承ください。
※紙面の内容は、供給時に変更になる可能性があります。



問題を扱う

情報Ⅰ 問題演習ノート

(情Ⅰ 116-901準拠)
判 型: B5変型
頁 数: 120頁
価 格: 840円 (本体764円＋税10%)
ISBN: 978-4-536-25515-8

基礎から応用まで——。多様な問題で教科書プラスαの学びを

1 テーマ、見開き完結の構成。学習の流れが
わかりやすく、スムーズに取り組めます。

左ページ

「要点整理」で教科書の
基本事項を確認し
ます。

教材オリジナルの
〈まとめの問題〉も
掲載しています。

右ページ

「練習問題」では、幅
広い問いで、基本事
項に対する理解を確
かなものにします。



問題を扱う

情報Ⅰ ADVANCED 問題演習ノート

(情Ⅰ 116-902準拠)
判 型: B5変型
頁 数: 132頁
価 格: 840円 (本体764円＋税10%)
ISBN: 978-4-536-25516-5

記述式問題も扱い
共通テストに
つながる力を養う

教材オリジナルの〈章末問題〉
も掲載しています。



実習を扱う

情報Ⅰ 授業ノート

(情Ⅰ 116-901準拠)
判 型: B5判
頁 数: 176頁
価 格: 840円 (本体764円＋税10%)
ISBN: 978-4-536-25517-2

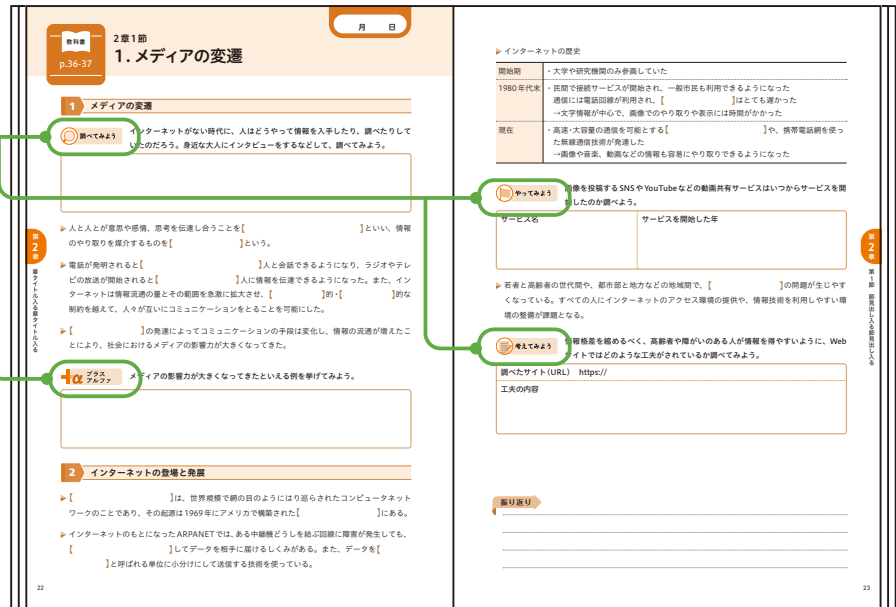
実習をもっと手軽に、もっと深く——。実践的に学ぶワークシート教材

教科書の節末・章末・巻末問題にも対応した内容で、
理解を深めるための学習をしっかりとサポートします。

教科書に記載の実習「やってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」をワークシート形式で扱っています。

教科書にない実習も「+α」として取り
上げています。

教授資料には、指導案に基づいた「授業
プリント」「授業スライド」が収録されて
います。本教材は「授業プリント」がベ
ースになっているため、資料の出力の手
間を省き、「授業スライド」との一体的な
活用が可能です。



問題を扱う

情報Ⅰ 図解と実習 サブノート

(情Ⅰ 711準拠)
判 型: B5変型
頁 数: 100頁
価 格: 605円 (本体550円＋税10%)
ISBN: 978-4-536-25493-9

教科書の内容を整理・確認し、
無理なく理解を深めるサポート教材



本教材は、教科書の「実習編」と厚さ
が同じなので、教科書の「図解編」に
ブックインすることができます。

↓ ご採用校提供データ

本見開きに掲載の教科書準拠教材につきましては、ご採用校向けに下記
データをご用意しています。印刷・校内での配信など、授業形態に応じ
てご活用いただけます。

●紙面 (PDF、Word) ●解答・解説 (PDF、Word)

※弊社 Web サイトからダウンロードいただけるよう、ID・PW を含め別途
ご案内いたします。

※「解答・解説」は冊子ではなく、データ提供のみになります。予めご了承
ください。

※「情報Ⅰ 授業ノート」は、解答例無し／解答例入りの紙面データのみの
ご提供になります。

※「情報Ⅰ 図解と実習 サブノート」の解答・解説は、PDF のみのご提供に
なります。

学びを深める 補助教材

知識を広げ、スキルを高めるステップアップ教材です。

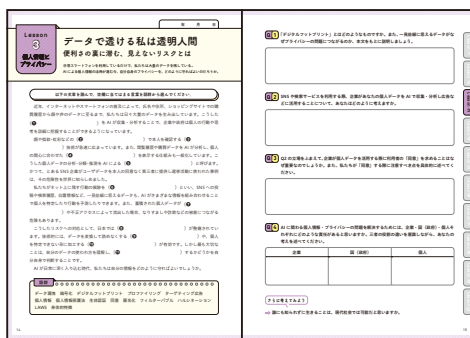
※紙面の内容は、供給時に変更になる可能性があります。



AIリテラシー・ ワークブック

監修：村山達哉、内山正登、
緋田亮、遠藤清将
定価：550円（本体500円＋税10%）
体様：B5判、32頁（オールカラー）
ISBN：978-4-536-33829-5

2027年
3月
発行予定



AIが社会に与える影響を具体的な事例から学びます。技術・倫理・社会との関わりなど、多角的な観点から、AI利用に必要な「考える力」と「判断する力」を育みます。発展学習や小論文対策などの場面でも活用できます。



情報 最新トピック集 2027 高校版

判型：B5判
頁数：216頁（オールカラー）
価格：1,287円（本体1,170円＋税10%）
ISBN：978-4-536-25525-7

2027年
1月
発行予定

「情報」を学ぶための最新トピックを厳選した資料集。「知っておきたい」基本的な内容から「もっと知りたい」高度な内容まで、見開きでわかりやすく解説しています。

📎 ご採用校提供データ

- 紙面(PDF) ●図版(PNG) ●内容のチェックリスト(PDF、TXT)



コンピュータ入力問題集 第4版

判型：B5判
頁数：120頁
価格：638円（本体580円＋税10%）
ISBN：978-4-536-25500-4

📎 以下のデータを日文Webサイトで公開しています。

- テキスト(Word) ●図版(PNG) ●数値データ(Excel)
- 解答(Word、Excel、PowerPoint)

ご採用校向け追加問題 本書の内容を補完し、初級から中級への学習をよりスムーズに進められるよう、文書作成および表作成の追加問題をご用意しました。
※弊社Webサイトからダウンロードいただけるよう、ID・PWを含め別途ご案内いたします。

日文は教科「情報」をサポートします。

日本文教出版 Webサイト

教科書・副教材の関連データをはじめ、機関誌のバックナンバーや研究会情報、その他関連教材などをWeb上で提供します。

教科「情報」メール

関連ニュースや研究会情報などを月に1回配信。配信のご登録は右記の二次元コードからお願いいたします。



情報Ⅰ公開実力確認テスト

「情報Ⅰ」について、これまでの学習を通してどの程度の実力がついたのかを確認できるテストです。

第4回までは実施期間を終了し、問題（フォームデータ）と解答・解説（PDF）を公開しています。第2回・第3回は、解答データを分析した結果をまとめた冊子（PDF）も公開しています。



ご注文は、最寄りの書店でお願いいたします。

令和9年度用 情報カタログ

2026年9月作成 CD3333110060

お問い合わせは、小社ホームページ「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。

日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉 4-7-5
TEL：06-6692-1261

日文のWebサイト

日文 🔍

